



10月 ちとせだより

2022. 10. 1

幼保連携型認定こども園
神戸Y.M.C.Aちとせ幼稚園

徐々に夏の暑さが和らぎ始め、外でも遊びやすい季節となってきました。幼稚園のコーナー遊びでは、各保育室だけでなく園庭も1つのコーナーとして天気の良い日はたくさん子どもたちが遊んでいます。「園庭で遊ぶ」といっても設置されている遊具や砂場だけが遊び場ではありません。様々な場所で、幼稚園にある全てのものを駆使して遊びを見つけ出し、仲間と共に過ごす様子が見られます。子どもたちの遊びに対する創造力は、計り知れないもので大人たちが予測できないような遊びもよく目にすることがあります。そこには、子どもたち自身が創り出したものであるが故に、説明書のようにやり方やルールが決められているものではありません。

つつい大人は、そのような子どもたちの遊びにも首を突っ込んでしまうケースが多くあるのではないのでしょうか？少し危なっかしい遊びをしていたら、「～したら危ないからやめておきなさい」「やるのは、～回までにしておきなさい」など、起こりうる可能性のある危険を事前に回避するために、つついその遊びに対して約束や決まりやルールを作ってしまうがちです。危険への抑制だけでなく、「～したらうまくいくよ」、「もっとこうしたらいいよ」など、やる前からあれこれとアドバイスをすることもあります。しかし、子どもたちにとって、やる前から失敗をして辛い思いをすることを想定して遊び始める子はいません。想定にないことをあれやこれやと言われる間に「やってみよう！」と思ったことへの関心は薄れていってしまうかもしれません。

「幼児期の子どもたちの仕事は遊び」と言われる所以は、遊びを通じて何度も失敗し、やり直しをすることができることにその価値があります。成長し大人になると、どうしても失敗できないこと、やり直しができないことがたくさんあるかもしれません。しかし、この時期だからこそ失敗が許され、何度もチャレンジすることが許され、時には落ち込んだりすることも良しとされ、納得いくまで繰り返して、楽しさを自分自身で獲得していくことが、本当の成長につながっていきます。「生きる力、生きる喜び」は、まさにこのような本物体験があってこそ得られるもので、人から与えられるものではありません。子どもたちには、自ら成長する力が与えられており、周りからの信頼があってこそ、その力を発揮することができます。私たちも、子どもたちの力を信じて、見守り、すべてを受け止めることができる人でありたいと思います。

【年主題】

『つながって』～今、わたしを生きる～

【年主題聖句】

主がすべての災いを遠ざけてあなたを見守り

あなたの魂を見守ってくださるように。あなたの出で立つのも帰るのも

主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。（詩編121編7～8節）

10月主題 「ふれあう」

聖句 「その人は豊かに実を結ぶ」（ヨハネによる福音書15章5節）